ARTEK STORY

アルテックの物語

北欧モダンを代表するインテリアブランド、アルテックは、アルヴァ・アアルト、アイノ・アアルト並びに美術史家のニルス=グスタフ・ハールと美術コレクターのマイレ・グリクセンにより、1935 年ヘルシンキに設立された。
アルテックの初代アートディレクターとして、アイノ・アアルトはインテリアデザインに集中する機会を得た。彼女はヨーロッパ旅行中に多くのアイデアを収集し、アルテックで達成すべき目標をはっきり理解していた。アイノをはじめとした創業者は、アアルトの家具を基盤にしてアルテックの現代的な思想を作り出し、オリジナルモデルのバリエーションを拡大していった。
創業の翌年にオープンしたアルテックストアのセレクションには、入念に選択された良質の輸入製品が追加された。アルテックストアは、これまでのフィンランドにはなかった、アートとインテリアデザインの文化の発信地となった。その後、アルテックは短期間のうちに、チューリッヒのヴォーンベダルフ社などの海外でインテリアデザインを扱っている会社とのネットワークを作り上げた。海外の大手企業と関係性を結ぶことは、アルテックが達成したいと思った事業モデルの1つである。ヴォーンベダルフ社の所有者はジーグフリード・ギーディオンで、アアルト夫妻は CIAM の大会で事務局長をしていた彼と友人となり、親交を深めていく。ヘルシンキの中心に位置するアルテックストアの上階には作図のためのオフィスがあり、アルテックのスタッフはアルテックの展示会や商業施設に加えて、個人住宅や公共空間のインテリアを設計した。マイヤ・ヘイキンヘイモは才能あるインテリアデザイナーで、アイノの右腕として働いていた。

アルヴァ・アアルト

アイノ・アアルト

ニルス=グスタフ・ハール

マイレ・グリクセン

設立

アルテックは 1935 年、アアルト家具の輸出管理と工業生産化された高品質な家具による日常生活の質の向上とともに、展示会や啓蒙活動によってモダニズム文化を促進することを目的とし、設立された。

由来

アルテックという社名は「アート（芸術）」と「テクノロジー（技術）」という 1920 年代に沸き起こった国際的なモダニズム運動のキーワードを掛け合わせた造語。モダニズム運動の旗手の一人、ヴァルター・グロピウスは「芸術とテクノロジーの統合」という有名な言葉を 1923 年に残している。当時のモダニスト達は、テクノロジーはアートを取り入れることで洗練されたものとなり、アートはテクノロジーの力で機能的かつ実用的なものになると信じていた。アルテックの創業者たちも同じ想いを社名に込めている。

文化の発信拠点として

ヘルシンキにアルテックストアがオープンすると、ほどなくしてその店は、新しい文化の発信地としてすぐに知られるようになり、今日、国外からも多くの人が訪れる存在になっている。過去、フェルナン・レジェをはじめアレクサンダー・カルダー、ヨハン・ミロ、パブロ・ピカソといった世界的なアーティストの展覧会がアルテックのギャラリーで開催され、一方でフィンランドの近代アート展を海外で開催する活動を行ってきた。1950年にはこうしたアート活動を事業化するためにギャラリーアルテックが開設され、1990年代まで運営された。

マニフェスト

アルテックのマニフェストは創業した当時に図解で示された創業宣言であり、アルテックが行う文化的、商業的なプロジェクトのガイドラインとなっている。
「モダンアート」「工業製品とインテリアデザイン」「プロパガンダ」の言葉が支柱を成し、「展覧会」「出版物」「販売」などの言葉が追随する。アルテックを立ち上げると決めたとき、創業者4人がまず考えたのはアルヴァ・アアルトとアイノ・アアルトのデザインした家具を国際的に販売し、事業として成り立たせることだった。その一方で、新たな家具事業は商業的な側面をはるかに超えた文化的な使命とも密接につながっていた。4人にとってアルテックは「家具に加えてインテリア、アート、そして工芸を提案すると共に、アルテックのヴィジョンを伝えるためのプロパガンダの場」だった。国際的なモダニズムの思想をフィンランドに取り入れ、それを北欧の視点で解釈したアアルトの思想を、今度は世界に広めようとした。

技術と革新

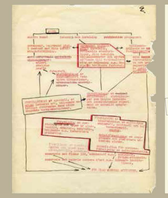
アルヴァ・アアルトは曲げ木の利用を検討し始めた1920 年代終わりごろ、家具職人のオット・コルホネンとともに革新的な技術の開発に着手した。バーチ材の「ラメラ曲げ木」を始め、無垢材を L 字型に曲げた「L - レッグ」と称される脚の開発が中心となった。「L -レッグ」のことをアアルトは「建築の柱の妹」と見なしていた。垂直に伸びた「L -レッグ」は水平面からの荷重を支える役割を持っており、アアルトの表現は実に的確だった。4つのサイズで製造される「 L-レッグ」からはスツール、チェア、ベンチ、そしてテーブル、収納家具まで、50 を超える製品が生まれた。「L -レッグ」は1933年に特許を取得し、これによってアアルトは、スタンダードパーツの組み合わせによる極めて多様な家具シリーズを作り出した。

ヘルシンキにオープンした最初のアルテックストア, 1936

1930年代後半, 初期のアルテックストア

マイレ・グリクセン

ギャラリーアルテック主催の展覧会招待状


アルテック 創業時のマニフェスト,1935

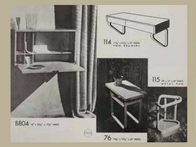
マニフェストの翻訳

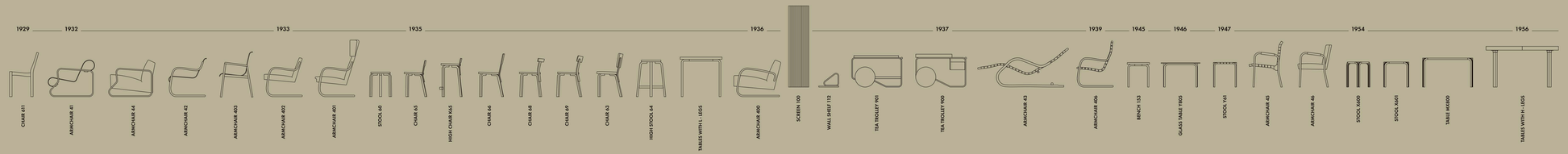
アルテックの国際的な販売ネットワーク

オット・コルホネン

工場風景

スツール 60



ニューヨークでアルテックの家具を販売していたフィンスウェン社のカタログ

アルテック カタログ